

キャラクター名  
永瀬 清貴

プレイヤー名

シンドローム	エンジェルハイロウ サラマンダー	ワークス	UGNエージェントB	カヴァー	高校生
オプション		年齢	16	性別	男
覚醒	死	衝動	加虐	初期侵食率	33 %
出自	犯罪者の子	経験	記憶喪失	邂逅	ビジネス

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	26
肉体	2	0	0			2	行動値	16
感覚	3	1	0		3	7	(非装備時)	16
精神	2	0	0			2	戦闘移動	21
社会	1	0	0			1	全力移動	42

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃	1		RC	1		交渉		
回避			知覚	1		意志			調達	2	
運転:			芸術:			知識:			情報:	UGN	3
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
氷炎の剣	白兵	7r-1	6	9		
武器作成	白兵	7r-1		24		氷炎の剣Lv3/地獄の氷炎Lv5 コスト5
武器作成【100↑】	白兵	7r-1		28		氷炎の剣Lv4/地獄の氷炎Lv6 コスト5
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ:UGN幹部	
コネ:要人への貸し	

合計装甲: 0    合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
Dロイス【懐刀】	P	N		
アッシュ・レドリック (REC)	P 有為	N 猜疑心		
記憶の中の影	P 執着	N 不安		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 6    残り財産P: 4

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
氷炎の剣	3	3	マイナ	至近	自身		-	
効果:	武器作成/攻撃力LV+6/G6							
地獄の氷炎	5	2	マイナ	至近	自身	自動	リミット	
効果:	氷炎の剣と同時使用/(攻撃orガード)+LV*3							
氷の回廊	1	1	マイナ		自身		-	
効果:	+LV*2移動/飛行							
コネ:サラ	2	2	メジャ		自身	シンド	-	
効果:	C-LV							
光の舞踏	1	2	メジャ	武器	自身	白兵	-	
効果:	白兵を感覚で判定							
マスヴィジョン	3		メジャ			シンド	100%	
効果:	攻撃力+LV*5/シナリオ3回							
氷神の悲しみ	1		メジャ		自身	感覚	-	
効果:	感覚ダイス「LV+1」							
七色の直感	★							
効果:								
不燃体	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

思い出  
そこに宇宙があるから 20点  
□□□  
平凡な家庭に生まれた少年だったが、子供の頃に父親がFHの実験によりジャームと化す  
その暴走に巻き込まれ、家族全員が死んだが、自分だけが同じようにオーヴァードとして覚醒し一命を取り留める。  
暴走した父親によって、何度も殺された記憶だけが頭に残っている。  
その後、UGNに保護される。

そういった経緯からFHを激しく憎んでおり、見かけ次第容赦なく切りかかりかねない

現在はアッシュ・レドリックの元で動いており、彼の、オーヴァードの権限の強化を、力を持つ者が正しく全てを収める。という感覚で捉えており  
まあ考えているかさっぱりだがそれなりに恩はある、という理由で賛同したり仕事を請け負いはする。

性格は荒っぽく常時いら立っているような雰囲気を出している  
あるいは、粗暴で無骨、あと生意気な性格と取れると思われる。  
実際不良気味であり、上司だろうと悪態を付く少々扱いに困るタイプの青年  
自分自身の力に固執しており、「強いやつが弱いヤツから全てを奪うのは当然、だから俺は強くならなきゃならねえ。これ以上奪われるなんぞ死んでもごめん」  
精神の持ち主

それ故に、オーヴァードに権限を持たせる、というアッシュの意見や行動を気に入っている。  
少なくとも軟弱な穏健派よりは自分向き、という感覚である。